

## 国立女性教育会館の存続を要望する意見書

昭和 52 年に設立された国立女性教育会館は、嵐山町を象徴するシンボリックな機関であり、幼児から高齢者まで幅広く様々な形で利用されてきました。

我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターとして、女性教育・男女共同参画社会推進に大きく貢献してきました。男女格差指数（ジェンダーギャップ指数）が 146 ヶ国中 125 位の我が国において、ますます必要とされる施設です。

鳩山町議会としては、これからも現在地において国立女性教育会館が存続することを強く願い、下記について要望致します。

### 記

1. 現状どおり、国立女性教育会館として継続すること。
2. 1 が叶わない場合には、今までどおりに国管理のもと、将来的に公園化できるように望みます。

以上、地方自治法第 99 条により意見書を提出する。

令和 6 年 3 月 12 日

埼玉県比企郡鳩山町議会

文部科学大臣 盛山 正仁 様